

大学院地域文化研究科 博士課程
澤井志保



～ITP派遣報告～

在香港インドネシア人女性 家事労働者の文学活動についての研究

派遣先と期間



- 1 香港中文大学 ジェンダースタディーズプログラム
2008年10月2日～2009年4月1日（現地調査）
- 2 シンガポール国立大学 人文社会科学部／アジア
研究所
2009年4月1日～2009年6月30日（論文指導）

研究対象と研究の手法



- 研究対象
イスラム系文学愛好者コミュニティ「FLP香港」
- 研究手法
 - ①定例ミーティングでの参与観察
 - ②メンバーや関連する人々への個別インタビュー
 - ③FLPメンバーの書いたテキストを分析
 - ④アジア移民研究関係の文献による香港社会の比較分析

FLP香港: (Forum Lingkar Pena Hong Kong / ペンサークル・フォーラム香港)



プロフィール:

- インドネシア国内最大規模のイスラム系文学愛好者コミュニティ・ペンサークル・フォーラムの海外支部の一つ
- 香港支部:2004年設立
- 現在メンバー: 35名
- インドネシア語で執筆

香港での研究課題



- 1 台湾、シンガポール、マレーシア、中東諸国などに多数存在するインドネシア人女性家事労働者の中で、なぜ、香港への家事労働者のみが活発に文学実践活動をおこなっているのか？
→香港社会の要因とは？
- 2 在香港インドネシア人女性家事労働者は、文学実践にどのような意義を見出しているのか？

研究課題に対する答え



- 1 香港とインドネシア両方の社会的状況が、偶発的に重なりあい、インドネシア人家事労働者の文学活動を可能にし、促進している
- 2 彼女らは、移民としての生活をより望ましいものにするための道具として、文学活動を行っている
- 3 彼女らは文学実践を通して、トランスナショナルな文脈で主体的位置の交渉を行っている
- 4 このような文学実践の形態を検討することで、グローバル化する非熟練労働移民の経験する周縁性の両義性が浮き彫りとなる

今後の課題



- 非ムスリム文学グループとの比較
- インドネシアに帰国したメンバーの追跡調査
- インドネシアのFLP本部・支部と海外支部の関係

直接的な研究成果①



- (1) 派遣先での研究発表
- 香港中文大学 水曜ジェンダーセミナー (2009/1/21)
 - シンガポール国立大学 人文社会科学部大学院セミナー(2009/4/17)
 - シンガポール国立大学 アジア研究所 カルチュラル・スタディーズ・クラスターセミナー (2009/4/29)
- (2) 研究成果の出版: 英文学術雑誌 2誌を予定

直接的な研究成果②



国際会議での研究発表

- International Convention of Asia Scholars (ICAS6) 韓国 (2009/8/9)
- CAAS国際会議 オランダ (2009/8/28)

派遣を通しての所感①



- 派遣先の学期に合わせた研究開始時期の設定が必要
- 異文化社会に適応するのに十分な研究期間設定を！

Cf. 3ヶ月で論文指導:新しい環境に慣れるのに1ヶ月、帰国準備に1ヶ月

派遣を通しての所感②



- NUS・CUHK共に、国際標準化が進んでいる
 - 英語バイリンガル使用(CUHK)
 - 女性が積極的に研究主体として活動、また積極的に研究活動に組み込む姿勢(NUS)
 - 違う文化を交流させ、研究における「多様性」や「新局面」に繋げようとするメカニズムの存在？
- 元留学生たちの日本の国立大学院に対しての残念な感想？
 - ITP派遣学生によるフィードバックを、外語大のさらなるグローバル化戦略のために積極的に有効利用していけるようなシステム作りが必要？

完



ご静聴ありがとうございました